

Press Release

魅力的な出展者が勢ぞろい『インテリア ライフスタイル』

初出展ブランド、新作、エシカル商品が続々と登場！MADE51 がアジア初上陸

メッセフランクフルト ジャパン株式会社(代表取締役社長:梶原靖志)は、2019年7月17日(水)ー19日(金)の3日間、インテリア・デザイン市場のための国際見本市『インテリア ライフスタイル』を東京ビッグサイトで開催します。今年も世界26カ国・地域、745社(5月20日現在)から、作り手の想いがこもったブランドが一堂に集い、秋冬・年末商戦に向けた商談の場として多くの来場者を迎えます(昨年の来場者数25,456名)。

また、環境や社会を考慮した消費活動を意味する「エシカル消費」が注目される中、エコ、省エネ、リサイクル、サステナブル、地方創生、伝統工芸など、『インテリア ライフスタイル』でも多くのエシカル商品が出展されています。今回は海外と国内それぞれから初出展されるエシカルブランドをご紹介します。



MADE51 : パキスタンのウールテキスタイル



RATTA RATTARR : 有田焼のプレート

■MADE51 [詳細はこちら](#)

2016年にUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)が設立したMADE51は「難民に持続可能なビジネスチャンスと生活を提供すること」を目指したプロジェクトです。今まで各国・地域で独自に行われていた難民による手工芸品の制作・販売活動をMADE51というブランドで統一したことが、このプロジェクトの大きな特長です。現在13カ国・11の団体とパートナーシップを組んでおり、「難民が作った」モノではなく「顧客が欲しい」モノを生み出すことにこだわった、選りすぐりの商品だけがラインナップされています。

7月18日(木)10:30より、UNHCRのハイディ・クリスト氏によるトークショーも開催されます。

■RATTA RATTARR(ラッタラッタ)

軽井沢のアトリエでクリエイター(障がい者)とアトリエスタ(支援員)の相互補助関係によって制作されるブランドです。アトリエスタがテーマやツールを選定し、クリエイターが描いたデザイン画を用いて独創的な商品を生み出しています。軽井沢には20名以上のクリエイターが在籍していますが、デザインスカウトキャラバンと称したワークショップを全国各地で実施し、クリエイターの発掘にも力を入れています。2018年にはELLE DECO International Design Awards(EDIDA)のJapanese Social Design Projectに選出されました。

■ピックアップ出展者

初出展ブランドや新作が続々と登場。7月の会期に先駆け、イチオシの出展商品の一部をご紹介します。



KIKOF：アートディレクター植原亮輔氏と渡邊良重氏が2012年に設立したKIGI（キギ）と滋賀県の職人たちとの共同プロジェクト
KIKOF（キコフ）：紙のように薄く軽い信楽焼のブランド。琵琶湖をモチーフにデザインされた陶器には、湖の表面積の刻印や湖面に映る色をイメージして配色。



TISTOU：ベルギーのフランダース地方を中心とするインテリア系デザインブランドのディストリビューター
CORTINA（コルティナ）：プランターブランド「DOMANI（ドマーニ）」新作。表面に保護性の鍍を形成したコールテン鋼を使用するユニークな作品。



ふくろやタオル：「自然の恵みと人の思いを紡ぐ」をコンセプトに新たなタオルを生産。ノベルティ・OEM生産も対応
零〜SHIZUKU〜：特産野菜で染めた野菜が生み出す泉州タオル「おいしいタオル」。他にもワインやクラフトビールの「のこりもの」から染色したシリーズも展開。



レグナテック（株） 諸富家具振興協同組合：佐賀県に本社を構える、家具職人による手作りの国産家具メーカー
Dear sir/madam：現代の生活にも合い、オンライン販売にも特化したフラットパッキング・セルフビルドの家具コレクション。Kodai Iwamoto Design との共同開発。



アッシュコンセプト：オリジナルブランド「+d」を筆頭に、さまざまな産地やメーカーと共同で製品開発を行う
Light Shopper：風のように軽いシンプルショッパー。坂雅子氏が手がける acrylic と初めてコラボレーションした+dの新作。他にも新商品を多数出展予定。



折りの道具屋まなか：古くからのしきたりを現代の暮らしの中で見詰め直し、新しい供養のかたちを提案
引と斥（いんとせき）：故人とのつながりを末永く受け継いでいけるように、大切な人の形見を収めることができる引き出しが家族の家系図になるお仏壇。



松田美智子の自在道具：料理研究家 松田美智子考案の食材の味・風味が活きる木・土・鉄素材の調理道具を扱う
自在鍋：持ち手、深さ、鍋肌と形状にこだわって、使いやすさを追求した鉄鍋。炊飯以外のすべての調理がこなせる万能鍋としても使える。グッドデザイン賞。

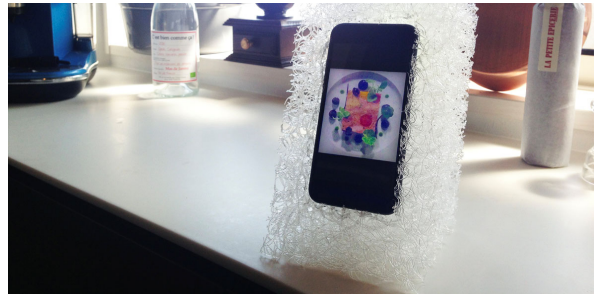


（有）マルヒロ：400年続く長崎の陶磁器「波佐見焼」を企画販売する産地メーカー
Family Collection：伝統的なブルーの絵具「呉須」を使用した、米国デザインオフィス House Industries と HASAI ブランドとのコラボシリーズ第二弾。



アトリエヨクト：南アルプスの麓、白州にアトリエを構え、使い込める余地のある道具や家具をデザイン・制作

OKAMOCHI (オカモチ)：料理を運ぶ道具として使われてきた「岡持ち」を、現代の生活に合った仕様、モジュールでリデザイン。「運べる道具箱」としても使用可。



MIYAVIE：柔軟な発想と蓄積された知識で、常に新しい素材・製品開発をチャレンジする

MIYAVIE MOBILE PHONE STAND：サスティナブルを考慮した安全でリサイクルできるポリエチレン製アート素材によるモバイルフォンスタンド。

また、アトリウム特別企画を筆頭に、トークショーや実演などバラエティー豊かな企画も満載です。[詳細はこちら](#)



■アトリウム特別企画

「The Corner Shop –How to make a market–」をテーマに、選び抜かれた出展者ブースが軒を並べます。また、入口周辺には山田遊氏(method inc.)セレクトによる出展者の商品が購入できる「特設ショップ」を設け、「持ち帰る」楽しみを加えました。

■LIFESTYLE SALON ※事前予約不要・聴講無料※

ビジネスのヒントに繋がる充実のトークショーが3日間で計12枠

<おすすめ> 7月17日(水)14:00-15:15

「IDÉEが目指す暮らしの提案」IDÉEバイヤー 大島忠智氏

■JAPAN STYLE 実演

日本の伝統とライフスタイルが融合した製品が集結したゾーン内で職人が実演

7月17日(水)13:15-14:00 ほか「磁器の加飾技法(絵付から施釉)」

7月18日(木)15:45-16:30 「矢田幸蔵氏による型彫り」 他多数

■HYGGELIG HOURS(ヒュッグリアワー) ※事前予約不要・聴講無料・フールドリンク付※

北欧出展者による実演や大使館職員と鹿児島睦氏によるトークショーを開催

7月17日(水)・18日(木)16:00-18:00



■来場のお問合せ先

インテリア ライフスタイル事務局

Tel. 03-3262-8456 / visit@interior-lifestyle.com / www.interior-lifestyle.com

■報道関係者からのお問合せ先

プレス担当：加来／柏木

Tel. 03-3262-8453 / Fax. 03-3262-8442 / press@japan.messefrankfurt.com

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約7億1,500万ユーロを誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に30の拠点をもち、全体で2,500人*を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、各地で産業を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。より詳細な情報は公式ウェブサイトをご覧ください。www.messefrankfurt.com

*2018年暫定数値